



埼玉のぞみの園 広報誌



発行 社会福祉法人埼玉のぞみの園

埼玉県深谷市本田3343

発行責任者 理事長 山崎勝



2015年9月に国連で採択された『17の目標』。貧困や紛争、自然災害、感染症といった人類が直面している課題を政府～自治体・企業・個人まで、それぞれが地球のために考えて取り組む。埼玉のぞみの園が『できること』はなんだろう？私たちは検討会を立ち上げました。

社会福祉法人 埼玉のぞみの園
理事長 山崎 勝
地域連携室長 樺澤正範

2 気候をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



12 つくる責任つかう責任



17 パートナーシップで目標を達成しよう



廃材を使用した薪づくり



「国連が持続可能な開発目標「SDGs」を定め、将来に亘って誰もが住みやすい地球環境の構築を目指しつつあることは周知の通りです。令和元年12月には園芸班の食用バラ栽培が「国連生物多様性アクション日本委員会」からその循環式自然農法に対する表彰を受けていますが、以前から地球に優しい事業を行っていたことに改めて気づかされています。もっとも、深谷たんぼぼではリサイクル作業として段ボールやアルミ缶の回収作業を開発間もない頃から作業として行っており、その萌芽が既にあっただと言えます。更には、法人傘下の「第2春日園」では、建築製造に加えて修理作業も開始しました。

「深谷たんぼぼ」は就労継続B型支援を含む多機能型事業所であり、作業支援がサービスの中心を占めています。その中に「木工作業班」があり、アウトドア用の薪づくりを行っています。これは今から20年以上前から続く作業で、昨今のアウトドアブームもあり順調な売り上げとなっています。この薪作業が厚生労働省「障害者就労における地域の産業と福祉の連携事業」ガイドブックで紹介されることになりました。薪材料の多くは作業開始当初より加須市にある三井ホームコンポネント株式会社様から、それまでは廃棄していた建築端材を廉価にて購入させていただき、それを裁断し束ねてキャンプ場等に納めさせていただいています。

GW ゴールデンウィークのおススメスポット

★赤城山周辺 (群馬県)

◆桑風庵 本店

平日でも混む群馬ではかなり名が知られている人気のお蕎麦屋さん。つなぎには海藻を使用した「へぎそば」という蕎麦で、蕎麦はモチモチな食感で喉ごしもツルツルして美味しいです。また、地元で取れた山菜の天ぷらも格別です。

〔情報〕

営業時間：11:00~15:00 売り切れ次第閉店 ※定休日要確認

群馬県前橋市富士見町1195 TEL 027-288-4120

◆赤城自然園

お蕎麦でお腹を満たしたら、少しお散歩したい気分になりますよね！赤城自然園では四季折々の植物が季節ごとに見ることができるスポットです。5月の時期であれば色鮮やかなツツジ、シャクナゲ等が見られます。

〔情報〕

群馬県渋川市赤城町南赤城山892

★羊山公園の芝桜 (埼玉県秩父)

◆芝桜まつり

芝桜まつりは、毎年ゴールデンウィークの頃に開催されるイベントで、期間中は約80万人もの人が訪れます。約40万株以上もの芝桜が植えられ、色鮮やかな花を咲かせます。また会場では多くの出店もあり、秩父グルメ「みそポテト」などを楽しむことができますよ♪コロナの状況により変更の可能性もあるため、HP等でご確認をお願いします。

〔情報〕

見頃：4月中旬~5月上旬

園内交通規制：2022年4月15日(金)~5月5日(木)

入園料 一般：300円 一般団体(20名以上)：250円

※中学生以下は無料。

埼玉県秩父市大宮6267 羊山公園管理事務所

TEL 0494-24-7481

(のぞみの園ホーム 坂口)



桑風庵さんのお蕎麦とシャクナゲ



羊山公園から武甲山を望む

看護師より花粉症対策のポイント

花粉症の症状を軽くするには、マスクやうがいは有名ですが、ツルツル素材の服にする、飛散の多い午後1~3時頃の外出は避けるなどの少しの気遣いも有効です。花粉症にも時期や種類が個々に違うため内服薬や点眼薬も様々ですので、シーズン早めに主治医へ相談するなど、自分にあった対策を見つけてみてください。(春日園 菊池)

コンタクトよりもメガネの方が花粉症が軽減されます

玄関で花粉を落とすから家に入りましょう

花粉が増えるのは、午後1~3時頃、気温上昇時と数日雨が降ってから乾燥時です

鼻炎には鼻筋のマッサージが効果的です



地元深谷のおススメ特産品

こちらは株式会社和ナチュラルテイストさんの「NEGI BUTTER SHOYU」です。

揚げた深谷ネギとフライドガーリックにバターと醤油を合わせたもので、ご飯の上にかけて食べるのもよし、パスタにあえるもよし、和と洋どちらにも合う調味料。

おススメする食べ方はトーストにNEGI BUTTER SHOYUとその上にチーズをのせて食べるのがGOOD♪

深谷ネギとフライドガーリックとチーズの相性が抜群です！

是非、お手に取ってみてください。



深谷たんぼぼは、国連から表彰いただきました

端材を活用してフィンガージョイント工法により建築部材の「間柱」を製造しており、またドロップアウトしたリースタールやシート等を裁断梱包して、工業用等のウエスを製造するなど25年以上前から続けています。最近では木製パレットの製造に加えて修理作業も行っております。
このように、埼玉のぞみの園では社会の隙間をカバーするような作業に法人全体でかなり以前から取り組んでおり、まさに「SDGs」を体現しつつある社会福祉法人なのです。
(地域連携室長 榎澤)

第2春日園

QC活動を通じてSDGsにつなげました

QCとはクオリティコントロールの略。簡単にいうと、品質を維持するための業務改善のことです。ご利用者支援の質の向上のために、埼玉のぞみの園では、QCの考え方を取り入れていています。



福祉のQC担当となった春日園は、2年連続で「売れ残り」を減らし売り上げUPを「目指す」と掲げ、取り組みました。

戻り(売れ残り)パンを減らす=食品ロスを減らすという事は、SDGsの17ある目標のうち、2番目の「飢餓をゼロに」に関するものです。福祉でもSDGsに取り組めるものはないかと考え、テーマを決定しました。



ラベルの改良 販売棚の製作

ラベルシールをカラーにしたり、販売用の棚を作ること、見た目の華やかさが増えました。また新商品開発によって、第2春日園オリジナルの商品「トマトパン」が完成しました。限定商品の「コトネ」を週に1度程度販売すること、毎回完売しました。

このような変化が生まれたか、再度半額シール中止を農林公園様、とんとん市場様に依頼。農林公園様の戻り率は、21.2%から12.5%へと約9%の減少。とんとん市場様は、48.3%から25.8%へと約22%の減少できました。

法人ご寄付ご協力

順不同・敬称略にてご容赦願います。 ※2021年12月~2022年3月末現在

高橋しのぶ

田沼大輔



ご寄付ありがとうございます。福祉の向上のために使用させていただきます。



新商品の考案 トマト班で収穫したトマト果肉を練りこんだ自信作のパン ぜひご賞味ください！

(第2春日園 柳澤)

各事業所のSDGs紹介

埼玉のぞみの園の各事業所で取り組んでいるSDGs活動の紹介です。2022年度、埼玉のぞみの園では「地域連携室」を立ち上げました。今までも近隣の清掃活動や被災地復興、地域の皆さまへの部屋の開放、ペットボトルキャップの回収等の活動を行って参りましたが、各事業所それぞれでの取り組みになっておりました。今年度からは社会福祉法人埼玉のぞみの園として更に本腰を入れて地域貢献活動とSDGs活動に力を入れていきたいと考えております。

妻沼つくし作業所



1年半前のQC活動をきっかけに、ごみを分別して処理するなどリサイクルを積極的かつ継続的に取り組んでいます。
①段ボール、厚紙等は資源ごみとして処理する
②ペットボトルや缶はリサイクルする
③廃油は地域の資源ごみとして処理する
④厨房等の個人的なごみは職員も利用者も持ち帰り、ごみの量を減らす
⑤食材や食品は使い切るだけの量を買う。余ったお惣菜は施設内で販売し食品ロスを減らす。今後はさらに節電や節水にも心掛け実践していきたいと思っております。
(戸井田)

春日園



入所施設である春日園では、環境に優しい取り組みとして『給食の残食を減らそう』と考えました。令和3年6～8月の2カ月間、残食を測定、同時に食事時間(食べはじめ～終わりまで)も記録に残して、機能低下を食事の観点から調べました。献立と残食にも着目して、なるべく経口で栄養を「美味しい食事」として召し上がっていただく事を目標にしています。食品ロスを減らしつつ、環境にも優しい食事提供を目指して試行錯誤を続けていきます。
(西川)

生活支援サービスのぞみ



のぞみでは『つくる責任、使う責任』として法人内の職員に募集をかけ不要になったおもちゃや自転車等をいただきました。おもちゃの形を変えて自立課題の教材を作るリサイクルや、自転車やおもちゃをそのまま使い続けるリユースといった考えから行っています。捨てられるはずだった物を再び使うことにより、ゴミの削減につながるうえに、経費を抑えられる、加えて子供達も喜んでくれるという好循環になります。今後も継続して行えればと考えています。
(内田)

相談支援のぞみ



相談支援センターのぞみでは小さなことでも出来る所からやってみようという取り組みをしています。
①裏紙での「L」
②裏紙をメモ用紙に再利用
③封筒の糊付け(プラスチック「ミ」を減らす)
④封筒の再利用
⑤書類管理を紙媒体ではなく、データで保存
⑥節電のため不在時は事務所の電気を消す
⑦エコドライブ
些細な事ですが、常に心がけて業務をしています。
(浅井)

法人設立45周年を迎えて 埼玉のぞみの園 理事長 山崎 勝



「ソニー」の故盛田会長は、5年毎に挑戦しているものがあり「スキーは60歳になってから始めた」という事を聞いたことがあります。何でもゴルフ場の風呂でお尻の垂れ下がった諸氏を見て『それはなりたくない』と奮起したとのことで、以後65歳でウィンドサーフィンを始め、70歳ではスキューバダイビングに挑戦したいと言っていたようです。それにあやかりたいと単純な私は、30歳で習字を始めました。35歳からスキーを、40歳ではルアー釣りを、ゴルフは55歳から始めました。ある程度習得していくためにはやはり5年程はかかると感じました。
人には各々ステイジがあると考えています。それは若いやんちゃ時代であったり熟練の世代であったり、それぞれの世代のステイジが必要と思うのです。
法人も設立45周年を迎えました。20歳で入所された方は65歳になられるわけで、時の流れの速さや時代の変化を痛感いたします。春日園では15周年で沖縄旅行、20周年でハワイ旅行、25周年では北欧、北海道の旅など思い深いものがあります。
昭和52年埼玉のぞみの園が法人認可を受けた当時、日本はまだ安定成長期真っただ中で、やっと障害者施設がちらほらとでき始めたころに思っています。
奉職してから5年後ほどだった折、上司から「今年は昇給がありません」と告げられました。世間より低額な給料なのに昇給出来ないなんて...とは思っても若輩者が上司に言えるはずありません。
その時以来福祉も経営的感覚を持たないと生きていけない「福祉事業の展開は地域に福祉資源を構築すると共に利用者の社会参加促進と職員の意欲や自信の向上に繋がる」と思い幾つかの事業を立ち上げてきました。
しかし、現場の目線は常に受益者は利用者であること。そして地域の負託に答えていくこと。これなくしての福祉職はありえないと考えています。
45年は単に通過点とは言え、先人達の努力の賜物であり、更に30年50年先まで本法人があり続ける為には利用者にも夢の見える施設を提供していかねばいけないのだろっと思えます。
その為にも、職員各位の熱烈なる協力で研鑽を切に願うものであります。

